

第2回 ライフサイエンススタートアップ・エコシステム構築推進事業に係る  
公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会 議事要旨

令和5年5月25日（木曜日）

1. 日時及び場所

○書類審査及びプレゼンテーション審査

令和5年5月25日 午後1時から午後2時10分

ライフサイエンス産業課会議室

2. 審査方法

あらかじめ定めた審査基準（公募要領に記載）に基づき、3名の選定委員が書類審査及びプレゼンテーション審査により100点満点で総合評価を行った。最終的に各選定委員の評価を集計し、評価点数の平均が60点を超える提案者のうち最高得点の者を最優秀提案事業者として選定。

3. 審査対象者（提案者）

（1）有限責任監査法人トーマツ 大阪事務所

4. 議事要旨

- ・ 選定委員会の公開・非公開について審議（非公開に決定）
- ・ 審査方法及び審査基準の確認  
（総合評価点の平均が60点以下の場合は選定しない旨を確認）
- ・ 企画提案部分について、提案者が15分間のプレゼンテーションを実施
- ・ その後、選定委員から15分間の質疑応答を実施
- ・ 審査の結果、「有限責任監査法人トーマツ 大阪事務所」を最優秀提案事業者に決定

【主な委員意見】

- 最優秀提案事業者は前年度に策定されたアクションプランを踏まえた提案ができていた。また、一般的なスタートアップエコシステムに関する知識や支援実績等を有しており、本事業を実施するうえでの人員体制も充実させていくという発言もあったことから、それらを総合的に勘案した。
- 仕様に関して、必要事項の提案はなされていたが、3拠点やSUが何を求めているのか、という掘り下げた提案としては物足りない点があった。海外市場調査については、提案されていたヒアリング手法は評価できる。
- 事業実施にあたっては、どうすればSUが発展していくのかという視点を持ち、他事業との連携、本事業の効率的・効果的な進行という観点でスケジュールや詳細な事業内容等を府と協議し必要な修正をしてほしい。

5. 選定委員会委員の氏名及び選定理由（五十音順）

所属・職名等	氏名	選任理由
特定非営利活動法人バイオグリッドセンター 関西 理事	坂田 恒昭	ライフサイエンス分野に関する知見に基づき、提案の実現性、実効性について審査いただくため。
国立大学法人大阪大学 共創機構 渉外部門長	正城 敏博	産学官連携、技術シーズの実用化についての経験を活かし、提案の実現性、実効性について審査いただくため。
日本公認会計士協会近畿会 公認会計士	宮島 広樹	企業会計や経営の専門家としての知見を活かし、審査していただくため